

(別記)

福祉サービス第三者評価結果公表事項（児童養護施設）

①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

②施設名等

名称：社会福祉法人 八幡浜少年ホーム	種別：児童養護施設
施設長氏名：二宮 真人	定員：40名
所在地：八幡浜市大字五反田1-25 TEL 0894-22-0026	

③実施調査日

平成26年2月7日（金）～ 8日（土）

④総評

◇特に評価が高い点

昭和39年、社会福祉法人八幡浜市社会福祉協議会により開設され、昭和48年、社会福祉法人八幡浜少年ホームに設置主体は変更になった。以来、養護の必要な子どもたちの養育支援を展開しており、施設規模や地域環境等を生かしながら現場経験のある施設長を中心に安定的な支援が展開されている。

第三者評価受審にあたり、施設長・職員とも評価結果を前向きに受けとめ、施設機能や養護内容の質の向上を図るため、改善に努めたいとの姿勢は高く評価したい。

◇改善が求められる点

施設要覧の「経営目的」や「生活指導の手引」に法人の運営理念が掲載されているが、基本方針と合わせて再確認すると共に、理念と基本方針を文書化することを期待したい。また、中・長期計画の策定とそれを踏まえた単年度事業計画の作成を望みたい。

社会的養護関係施設を取り巻く環境を考慮し、施設要覧の見直しや養護内容の質の向上を組織的に図るため、現在の運営や改善の仕組みの検証を行う機会を設け、マニュアル等を文書化するよう今後の取組みに期待したい。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

この度、第三者評価を受ける事により、改めて気づかされた事も多く、今回指摘された点については、改善に努めて、よりよい施設運営、サービス向上につなげ、今後第三者評価を定期的に取り入れていきたいと思っております。

⑥第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（児童養護施設）

1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本	第三者評価結果
① 子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかりと受け止め、子どもを理解している。	a・ ⓑ ・c
② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a・ ⓑ ・c
③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a・ ⓑ ・c
④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a・ ⓑ ・c
⑤ 秩序ある生活を通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a・ ⓑ ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>児童相談所の資料をもとに、個々のケース内容や子どものおかれている背景を把握、理解した対応に努めている。また、児童の心的ケアを心理学的知見によって洞察し、職員の資質向上を図ることを課題と考えており、心理職の早期の配置を具体的に検討している。</p> <p>秩序ある生活を通して子どもたちが、社会参加や地域貢献ができるよう積極的に検討している。</p>	
(2) 食生活	第三者評価結果
① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	ⓐ ・b・c
② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	ⓐ ・b・c
③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a・ ⓑ ・c
(3) 衣生活	第三者評価結果
① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	ⓐ ・b・c
② 子どもの衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	ⓐ ・b・c
(4) 住生活	第三者評価結果
① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	a・ ⓑ ・c
② 子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	a・ ⓑ ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>食堂は清潔に保たれ、各テーブルごとにトースターやホットプレートの活用が日常化されている。残食も少なく、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫がなされている。</p> <p>今後は、食育や食習慣について、児童の年齢・発達段階に応じた目標・ねらいを整理するなど、取組みに期待したい。</p> <p>居住空間については、広い間取りと少人数部屋でゆとりあるスペースが確保され、部屋ごとにテレビやエアコンが設置され、快適な居住環境づくりに努めている。</p>	

(5) 健康と安全	第三者評価結果
① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a・Ⓑ・c
(6) 性に関する教育	
① 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・Ⓑ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>健康管理に関する資料は、学校資料を活用し子どもたちにわかりやすく説明されている。</p> <p>感染症対応や服薬チェックは危機管理とも関連することでもあるので、流行期前の事前学習や職員間の連携、正確な申し送りについて今以上の配慮を期待したい。</p> <p>性教育は全体に対して行われているが、子どもの年齢や発達段階に応じて、ねらいや内容を整理し伝えるよう望みたい。また、伝える職員の資質向上のために、職員の学習・研修の場を設けるなど、さらなる取組みに期待したい。</p>	

(7) 自己領域の確保	第三者評価結果
① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a・Ⓑ・c
② 成長の記録（アルバム）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	a・Ⓑ・c
(8) 主体性、自律性を尊重した日常生活	
① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している	a・Ⓑ・c
② 主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	a・Ⓑ・c
③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a・Ⓑ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>個人が所有することが望ましい日常生活用品については、適切な対応ができるよう今後も継続して検討することを期待したい。</p> <p>生い立ちの整理を、一人ひとりの状況に応じて施設長や職員が参画して実施している。成長の記録(アルバム)を、デジタルカメラで撮影するようになったため、アルバムの整理・活用が少なくなる等の新たな課題が生じている。</p> <p>主体的に余暇を過ごすことができるよう、行事や余暇等の企画・運営を子ども主体で行うようにしている。</p>	

(9) 学習・進学支援、進路支援等	第三者評価結果
① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a・Ⓑ・c
② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a・Ⓑ・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

施設の方針として、資格取得や塾の活用を積極的に支援しており、定期的な学習支援ボランティアの受け入れも行っている。また、学校と連携し子どもの意向を尊重しながら、最善の利益にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。

必要に応じアルバイト等を通して職場体験の機会を設ける等、さらなる取組みに期待したい。

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応	第三者評価結果
① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	a・ b ・c
② 施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a・ b ・c
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a・ b ・c

(11) 心理的ケア

① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a・ b ・c
---------------------------------	----------------

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

「生活指導の手引き」を活用し、虐待防止委員会やケース検討会等、定期的に問題行動や不適切な関わり防止に努めている。今後、継続して問題発生の予防や強引な引き取り対応等について、職員の資質向上のための学習・研修の機会を設けることを期待したい。

心理的ケアの必要性や心理職の早期配置を具体的に検討しており、支援体制の充実に向けて取り組んでいる。

(12) 養育の継続性とアフターケア	第三者評価結果
① 措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	a・ b ・c
② 家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a・b・ c
③ できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a・b・ c
④ 子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a・ b ・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

措置変更や継続・延長の事例はないが、ニーズがある場合は、対応できるよう検討を望みたい。

家庭復帰後の継続した支援やアフターケアは、電話による確認や要保護児童対策地域協議会での情報交換を行っている。業務量的に厳しい面もあるが今後、施設の役割としてアフターケア機能について検討する機会を設けるよう期待したい。

2 家族への支援

(1) 家族とのつながり	第三者評価結果
① 児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a・ b ・c
② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	a・ b ・c
(2) 家族に対する支援	
① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・ b ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>家庭支援専門相談員は関係機関との連携や家族との関係調整に努めているが、主任指導員を兼務しているため、十分機能しているとは言えない。面会や外出、一時帰宅などの実施に際しては、個々の家庭状況による柔軟な対応が求められるため、今後の対応に期待したい。</p> <p>親子関係の再構築については、他の関係機関との連携をとりながら、さらに進めていくよう望みたい。</p>	

3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者評価結果
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	a・ b ・c
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	a・ b ・c
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	a・ b ・c
(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	a・ b ・c
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	a・ b ・c
③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	a ・b・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>情報の共有化を図るために、OA機器の活用を積極的に行っている。</p> <p>自立支援計画については、児童や保護者の意向を取り入れながら、他職種参画の合議による作成が求められる。施設の職員構成による制約はあるが、可能な範囲で作成手順や合議体制の見直しを検討するよう望みたい。また、職員間で内容や書き方に差異が生じないように、共通理解を進め、記録の保管・保存・廃棄・開示に関する現状の取り決めを文書化するなど今後の取組みに期待したい。</p>	

4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者評価結果
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a・ b ・c
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a・ b ・c
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a・ b ・c
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	a・b・ c
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	a ・－・c
(2) 子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	a・ b ・c
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	a・ b ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子どもの権利ノート(愛媛児童福祉施設連合会作成)の活用は定期的になされており、職員の人権擁護に関する勉強会も実施するなど子どもへの適切な支援に努めている。</p> <p>日常の会話や意見箱への投書等を通して、児童の意向把握に努めている。今後は、担当職員以外の職員による聞き取りや意向把握後の分析・検討・改善を図り、全職員が情報を共有できる仕組みを構築するよう取組みに期待したい。</p> <p>また、スーパービジョンが行える体制の確立や支援内容、職員の関わりを検証する場を設けるための検討がなされることを期待したい。</p> <p>児童の私生活上のプライバシー保護に関する規程・マニュアルについて、職員の倫理観・規範意識を育てるためにも、早期の作成と職員への研修・子どもへの周知が図られるよう望みたい。</p>	
(3) 入所時の説明等	第三者評価結果
① 子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるように工夫を行い、情報の提供を行っている。	a・ b ・c
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・ b ・c
③ 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a・ b ・c
(4) 権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・ b ・c

(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	a・ b ・c
② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	a・ b ・c
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	a・ b ・c
(6) 被措置児童等虐待対応	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a ・b・c
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・ b ・c
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・b・ c
(7) 他者の尊重	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a・ b ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>「入所受入れマニュアル」を作成し、聞き取り確認のポイントが整理されている。</p> <p>施設概要の説明は施設要覧等を活用しているものの、改訂や新たな内容を盛り込むなど検討する必要がある。</p> <p>子どもの権利ノートを活用し定期的に権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。</p> <p>職員による不適切な関わりが生じないよう、研修を通じて職員の意識改革や資質の向上を計画的にすすめ、不適切な関わりの防止と早期発見に関する具体的なマニュアルの整備がなされるよう期待したい。</p>	

5 事故防止と安全対策

	第三者評価結果
① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a・ b ・c
② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	a・ b ・c
③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	a・ b ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>報告規程とともに、事故や感染症発生時の緊急対応手順を作成し、職員への周知理解を図るよう期待したい。</p> <p>子どもの安全確保のために想定される危険・事故については、ヒヤリハット等を活用し、早急に再点検が望まれる。</p>	

6 関係機関連携・地域支援

(1) 関係機関等の連携	第三者評価結果
① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	a・ b ・c
② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	a ・b・c
③ 幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	a ・b・c
(2) 地域との交流	
① 子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	a・ b ・c
② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	a・ b ・c
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	a・ b ・c
(3) 地域支援	
① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	a・b・ c
② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	a・ b ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>定期もしくは、必要に応じて児童相談所や学校との連携が図られている。地域の民生委員や児童委員、一日里親の実施等、地域との関わりが持たれている。今後は、子どもの健全育成や発達支援、自立支援に関係する地域の社会資源をリスト化する等さらなる取組みに期待したい。</p> <p>友人や地域の子どもたちは施設に訪問することを容認されている。地域との交流や施設機能の提供についても、地域のニーズを把握し積極的に行うよう望みたい。</p>	

7 職員の資質向上

	第三者評価結果
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・ b ・c
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a・ b ・c
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	a・ b ・c
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	a・ b ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>全国児童養護施設連絡協議会や愛媛児童福祉施設連合会、南予福祉会の研修に積極的に参加している。今後は、新任職員や中堅職員、指導的職員、管理職員など経験値や立場に応じた研修の実施、さらに職員一人ひとりの個別の研修計画を策定し、計画的にスキルアップを図れるよう取組みに期待したい。</p> <p>スーパービジョンの体制(援助の質の向上を図る組織的な職員相談・支援体制)を確立し、子どもを担当する職員が問題を一人で抱え込まないよう支援する体制を構築するよう期待したい。</p>	

8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	第三者評価結果
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	a・ b ・c
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	a・ b ・c
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ b ・c
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ b ・c
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	a・b・ c
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	a・b・ c
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	a・ b ・c
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ b ・c
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・b・ c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>法人・施設の運営理念に相当するものは、施設要覧の「経営目的」や「生活指導の手引」に文書化されているが、社会的養護関係施設を取り巻く環境の変化に対応できるよう、見直しの機会を設ける等今後の対応に期待したい。</p> <p>また、第三者評価受審を期に、基本方針の再確認や運営理念や基本方針に基づいた中・長期計画の策定など期待したい。さらに、職員や子どもたちへは、作成された文書に基づいて十分に説明を行いながら、周知していくよう望みたい。</p>	

(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者評価結果
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a ・b・c
② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	a・ b ・c
③ 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a ・b・c
④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a・ b ・c

(4) 経営状況の把握	
① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	a・ b ・c
② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	a・ b ・c
③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	a・b・ c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設長は長年の現場経験を生かし、組織におけるリーダーシップを発揮するなど、責務を十分理解している。今後は、地域のニーズを把握し、職員の育成等、さらなる指導力を発揮して行くことを期待したい。</p>	

(5) 人事管理の体制整備	第三者評価結果
① 施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	a・ b ・c
② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	a・b・ c
③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	a・ b ・c
④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a・ b ・c
(6) 実習生の受入れ	
① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	a・ b ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>基幹的職員や家庭支援専門相談員は配置され、心理職については早期の配置を検討中である。人事考課は現在、施設長裁量により実施されている。考課の基準づくりやそれに基づく適正な実施が望まれる。</p> <p>福利厚生センターへの加入はないが、施設内で「職員クラブ会則」「慶弔規程」が定められている。</p> <p>実習生の受入れは、年間を通して積極的に行われている。育成については、養成校と連携を図りながら育成プログラムの策定とそれに基づいた育成・支援を望みたい。</p>	

(7) 標準的な実施方法の確立	第三者評価結果
① 養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	a・ b ・c
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを施設全体で実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	a・ b ・c

(8) 評価と改善の取組

① 施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。

a・**b**・c

② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。

a・**b**・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

「生活指導の手引」が養育・支援の標準的な実施方法として文書化されている。養育・支援の標準的な実施方法は定期的に検証されているが、現在の検証の仕組みを文書化し、さらなる改善を図るよう期待したい。

自己評価及び、第三者評価受審を前向きに捉えており、質の向上を図るという施設の姿勢がみられる。改善事項や課題を把握・リスト化し、改善実施計画を作成する等サービスの質の向上に向けて取り組むことを期待したい。